

仙台高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	知的財産概論		
科目基礎情報								
科目番号	0122			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	電気システム工学科			対象学年	5			
開設期	前期			週時間数	前期:1			
教科書/教材								
担当教員	青木 誠							
到達目標								
産業に寄与できる工業技術を学ぶ視点から、知的財産権を理解し、自ら今後に役立てる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 知財・特許・広報の関連		論理的に説明できる。		理解できる。		理解が不足している。		
評価項目2 発明の捉え方と書き方		論理的に説明できる。		理解できる。		理解が不足している。		
評価項目3 著作権・不正競争防止法		論理的に説明できる。		理解できる。		理解が不足している。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		工業系高等専門学校における知財の活用能力を発展させ、知的想像力の育成、ものづくり活動や専門分野の技術・技能習得を通して、工夫改善、知的財産権への意欲・関心を高めていく。また、ものづくりににおけるアイデアや思い付きを、具体的な知的財産権に結びつけるトレーニングを行う。						
授業の進め方・方法		講義と演習を組み合わせで行う。						
注意点		知的財産権が、産業上どれだけ重要な位置を占めているかを理解する。また、日頃の「ものづくり」に関する授業において見出される発明を、具体的な知的財産権として出願する体験を試みる。						
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス			知的財産について、必要性を理解できる。		
		2週	知的財産の概要			知的財産の歴史、知的財産制度の概要を理解できる。		
		3週	特許の概要			特許要件、特許出願から権利化までを理解できる。		
		4週	公報の読み方			先行技術を読む必要性・有効性、請求項の読み方を理解できる。		
		5週	発明の捉え方			発明の一般的な流れ、先行技術の有効性、事例、展開例を理解できる。		
		6週	発明の書き方(1)			書く際における先行技術の必要性・有効性を理解できる。		
		7週	発明の書き方(2)			書く際（実際はチェックする際）の留意事項を理解できる。		
	2ndQ	8週	著作権・不正競争防止法			著作権・不正競争防止法に関する一般的知識を理解できる。		
		9週						
		10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
16週								
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
基礎的能力	20	20	0	0	0	0	40	
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40	
分野横断的能力	10	10	0	0	0	0	20	